



新しい手口の特殊詐欺被害発生！！

1 はじめに

依然として特殊詐欺の被害が発生している中、警察や銀行の対策の隙間を縫うような手口が確認されました。

2 新しい手口

(従来の手口)

犯人は、被害者に現金を引き出させて受け取りに来たり、指定する口座に振込をさせて、金をだまし取っていた。

→警察で金融機関に協力を要請し、出金や振込をする前に食い止めていた。

(新しい手口)

犯人は、被害者に開設させたネットバンクに資産を移動させた後、その資産で暗号資産(仮想通貨)を購入させ、言葉巧みに暗号資産のパスワードを聞き出して、金をだまし取った。

→犯人側が警察や金融機関に犯罪を察知させないために、振込や出金という手続きを取らないようにした。

3 詐欺の入口

現在は、警察や検察、厚生労働省などの職員を騙った詐欺が多く発生しています。

厚生労働省の〇〇です。

あなたの保険証が悪用されています。

心当たりないですか？

あなたの個人情報が漏れているので、〇〇警察署に被害届を出してください。

今、〇〇警察署の△△に電話をかわります。

(警視庁等、他県の警察を騙ることが多い)



※この後に、ニセ警察官が登場(裏面)

ニセ厚生労働省

お電話かわりました〇〇警察署△△です。
電話で被害届を受理します。
犯人から押収した偽造キャッシュカードの中に、
あなた名義のものがありました。
このままではあなたも犯人グループのメンバーと
いうことになってしまいます。
お疑いでしたら警察手帳とあなたに対する令状も
お見せしますよ。(携帯でニセ画像を送ってくる)
冤罪を晴らすには、検事の指示に従ってもらう
必要があります。
検事に電話を代わらせていただきます。



ニセ警察官

電話を代わりました検事の□□です。
あなたの口座が資金洗浄に使われています。
あなたの全ての口座の金融機関と残高を教えてください。
ネットバンクの口座を開設して、あなたの資産の
全額をその口座に入金してください。
入金が終わったら、入金したお金で仮想通貨を購
入してパスワードを教えてください。



ニセ検事

4 被害に遭わないために

前提として

警察は、大事な話は対面して行います。

電話で、「あなたが犯人として疑われている」などと言ったり
りしません。

警察や検察は、お金を預かろうとしたり、口座を作るよう
に言いません。

警察は、ほかの官公庁の人と電話を代わったりはしません。

犯人は、庄内警察署ではないどこかの警察署を名乗り、「地
元の警察に言えば守秘義務違反で逮捕する」などと脅して、
庄内警察署とのつながりを断とうとします。

地元の警察署である庄内警察署を信用して、必ず相談
してください!!! TEL 0234-45-0110